【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公開番号】特開2020-11727(P2020-11727A)
【公開日】令和2年1月23日(2020.1.23)
【年通号数】公開・登録公報2020-003
【出願番号】特願2019-164132(P2019-164132)
【国際特許分類】
Ｂ６４Ｆ　3/02　(2006.01)
Ｂ６４Ｄ　27/24　(2006.01)
Ｂ６４Ｃ　39/02　(2006.01)
Ｂ６４Ｃ　27/04　(2006.01)
Ｂ６４Ｃ　25/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６４Ｆ　3/02
Ｂ６４Ｄ　27/24
Ｂ６４Ｃ　39/02
Ｂ６４Ｃ　27/04
Ｂ６４Ｃ　25/32

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月16日(2021.7.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
作業用回転翼機と、中継用回転翼機と、少なくとも前記作業用回転翼機に対して給電ケーブルを利用して給電を行う給電機とを含む、回転翼機の給電方法であって、
前記給電ケーブルによる前記給電がされた状態で前記作業用回転翼機を飛行させるステップと、
前記作業用回転翼機と前記給電機との位置関係が所定の関係になった場合に、前記中継用回転翼機を前記給電ケーブルの所定の部位に接続させて前記給電ケーブルを支持するステップと、
を含み、
前記作業用回転翼機または前記中継用回転翼機の少なくともいずれかは、自機を構造物に対して固定可能な固定手段を有しており、当該固定手段により自機を前記構造物に固定させるステップを更に含む、
給電方法。
【請求項２】
請求項１に記載の給電方法であって、
前記作業用回転翼機または前記中継用回転翼機は、自機を前記構造体に固定させた後に、その飛行を停止する、
給電方法。
【請求項３】
請求項１または請求項２のいずれかに記載の給電方法であって、
前記給電機は、前記中継用回転翼機に対して前記給電ケーブルを利用して給電を行う、

給電方法。
【請求項４】
請求項１乃至請求項３のいずれかに記載の給電方法であって、
前記中継用回転翼機は、前記給電ケーブルをその延伸方向に移動自在に係止可能な支持部を有しており、
前記中継用回転翼機は、前記支持部によって前記給電ケーブルを支持する、
給電方法。